

7月31日（金）

光組自立学習の研究授業

先日の風組の生活単元の学習研究授業に続き、光組でも自立学習の研究授業が行われました。

風組同様、自分たちを取り囲む大人の多さに緊張しながらも、光組の生徒はいつものように頑張りました。会場は三階多目的室。ゆったりとした部屋で、自分たちらしさを発揮したとても素敵な授業でした。



学習単元は「伝え合う」。困ったときに自分から他者に助けを求めて解決できることが、これからの生活の中で大切になってきます。そのために、今回取り組んだのが「図形伝言ゲーム」。図形を描くた

めに、「確認し合う言葉」を考え、それを意識して伝えたり質問したりします。

「ちょっと待ってください。」「もう一度教えてください。」「ありがとうございました。」など、伝え合うときのコミュニケーションとして必要な言葉を使って、指示通りに図形を描いていきます。

この日は1年生のN・S君と、3年生のT・K君の選んだそれぞれの図形を、彼らが出すヒントを頼りにみんなで考えました。T・K君の説明の時には、「まず最初に、大きなOを置きます。」という発言のすぐ後に、「どこにですか。」「左のどの辺ですか。」などと、仲間からT・K君に質問がすぐさま飛び交いました。質問に答えてもらうと、「ありがとうございます。」というお礼の言葉がすぐに生まれていました。

途中には、説明してもわかってもらえなかった出題者がいらつく場面も見られました。しかし、丁寧な言葉遣いで誠実に質問することで、いらつきはすぐに消え、楽しいやりとりがもどりました。

「伝える」だけではいけません。相手に伝わって初めて「伝え合う」になるのです。「伝える人」「伝えられる人」この両者の間には言葉が必ず生まれます。そんなコミュニケーションを学んだ一時間でした。

